

# GLOBAL REPORT

第34号 2月18日

「あなたの夢はなんですか？」こう聞かれて、即答できる人はどれくらいいるのでしょうか。

今年度最後のグローバルレポートは、夢を追いかけ、フランスに渡った出雲市出身のヴァイオリニストの村上彩さんをお願いしました。



～ プロフィール ～

村上 彩 / ヴァイオリニスト

出雲市出身。松江北高校理数科、京都市立芸術大学音楽学部卒業後、2011年より渡仏。パリ地方音楽院留学を経て、現在フランスを拠点に国境を越えて幅広く演奏活動を行っている。ブザンソン・ヴィクトール・ユーゴ管弦楽団、アコス弦楽四重奏団メンバー。

ホームページ : [www.quatuorakos.com](http://www.quatuorakos.com)

## 出雲+ご縁=グローバル

市、県、国を越え、これまでにありとあらゆる人々との出会いに導かれ生きてきました。どれも実に尊く、私の「今」を力強く支えてくれているのを日々実感しています。「グローバル」とは、世界的な規模であるさま。国境を越えて、地球全体にかかわるさま。私は、音楽家として様々な場所へ旅し演奏するのを生業としています。音楽とは「芸術」のひとつの形であり、人に「心」があることを証明するものの一つです。多々ある境界線を越えて人々の心に直接届き、かけがえのない瞬間を作り出す喜びは、音楽家冥利に尽きるといっても過言ではないでしょう。

言葉や文化、まして時代が違って、人は共通に「心」を持ち、たくさんの「出会い」を経験しながら、皆等しく自身の一度きりの人生を歩みます。与えられた時間の中で、同じ星でそれぞれに全く違う人生を織りなしていく訳ですが、どんなに小さな「出会い」でも影響力を持ち、時をかけて着実に人生を発展させていきます。日々生きてく中でふと気づく…、誰もが「ご縁」に支えられているという事を。ふるさと出雲の「ご縁」を大事にする姿、これぞ「グローバル」の真髄に値するものだ、とつくづく思うのです。



## 英語、世界、そして夢

幼少期に、父の仕事の関係で渡米しました。2年間に渡るアメリカでの海外生活は、私の人生の土台を形成する大事な要素となったのは言うまでもありません。英語は、もちろん現地でゼロからのスタート。小さいながらに第二言語習得を経験したわけですが、発想の転換と柔軟性を養う大きなきっかけとなりました。現地の小学校で当たり前のように多国籍のクラスメートたちと「英語」で学び、そして日本語補習

校で「日本語」で学ぶ…言葉や文化という大きな基盤の違いの狭間で、お互いの違いを理解し、分かち合う事の大切さを肌で感じました。第二言語、第三言語と、母国語以外の言葉を身に付ける事で意思疎通力が増し、意識の視野がグッと広がります。一方で、世界に目を向けるためには、より一層自分自身に目を向ける必要がある、と私は思います。自身が何者なのか、自分のルーツについて深く考え、そのためには母国語にも更に磨きをかける必要が出てきます。同時に、これからどう生きていきたいか、自分にとっての夢は何なのかを考えることが非常に重要になってきます。この「夢」こそが、人生の大事な鍵となり、数々の扉を開く原動力になるのです。ありのままの自分を抱きしめ、大きく自由に夢を描いてください。

どんな形でも、自分らしい人生を歩むこと。夢を持つ（自身を知る）事が、「人間力」を培う肥やしとなり、それによって少しずつ相手（世界）を理解できるようになる。グローバルな視点を育み、何歳になっても、夢を見つづける事を忘れないでください。素敵な出会いが、その先に必ず待っています。

### 一歩外に出れば、きみもニッポン代表

フランスに住み始めてから、日本について、そして日本人について沢山質問されるのは、10年経った今でも日常茶飯事。ひとりの日本人として、自分の一言一言は何とも責任重大。まさに「日本代表」としての受け答えが問われます。日本にいる時には思ってもみなかった事や、世界から見た日本の歴史的視点に関する鋭い質問には、いつもハッとさせられます。日本について広範囲の知識を要求されるので、今でも課題が山積みですが、母国へ興味を持ってくれる人と接するのはやはり嬉しいものです。知りたい、聞きたい、行ってみたい。どれもいたってシンプルですが、生き生きとしたエネルギーに五感が刺激され、色々な事について考えるきっかけをもらいました。フランスに来たばかりの頃、そして今も、現地の方々は大らかな心でフランスについてのあれこれを教えてくれます。物事を把握する力、本質を見極める力、認識力を養うこととはとても大切です。



**最後に…** 有為転変は世の習い、そして人生は旅なり。人生のヒントは、あらゆるところに散りばめられています。しっかりと自身を深めていき、冒険してください。応援しています！

### ～グローバルレポート担当 滋野紗世子～

“夢を持つ（自身を知る）事が、「人間力」を培う肥やしとなり、それによって少しずつ相手（世界）を理解できるようになる。”という村上さんの言葉が私にはすごく印象的でした。そういうグローバルもあるのか！と。世界を見る前にまず自分を見ること、大切ですよね。

夢を話すと、なんとなく恥ずかしくなったりしませんか？そもそも持っていない人も多いのではないでしょうか。夢って、将来つきたい仕事だけではなくて、自分がどう生きたいのかということ。

勉強に部活動に、みなさんととても忙しい毎日をお過ごしだと思いますが、たまには自分に問いかけてみてください。「あなたの夢はなんですか？」